

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	にじいるパレット			
○保護者評価実施期間	2025年 4月 1日		～	2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	2025年 4月 1日		～	2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動療育をメインとしたプログラムを毎日おこなっており、身体を動かすことができる	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、異なった内容の運動プログラムを実施し、あらゆる機能を使い感覚統合を目指している。 ・日々の取り組みに対して記録をし、振り返りを行うことで次のプログラムの質の向上を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理学療法的な観点からプログラムを見直し、より専門的な運動療育を目指していけるよう研修等への積極的な参加をする。
2	部屋がしっかりと区切られており、活動に応じて環境設定がなされている	<ul style="list-style-type: none"> ・パーテーション等を用いて視覚的な区切りも作っている。 ・人数が多いと感じた時は、活動の部屋を分けて過ごしやすいように環境を整えている。室内で活動するグループと外で活動するグループに分けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後はより構造化を強化した環境設定をしていく。 ・スケジュールの貼りだしや、写真、イラストなどを使った視覚支援の充実を図る。
3	職員間の連携が密に取れており、共有ができています	<ul style="list-style-type: none"> ・共有事項のノートを作り、常に職員が出勤時にチェックしている。 ・朝礼、終礼時に1日の振り返りをおこない、フィードバックをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内研修を実施する。 ・支援会議の内容を要点のみまとめ、朝礼時に当日の利用時についてカンファレンスを行う。

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用児童が男性が多いので癇癪がひどい時には女性スタッフでは対応できないことがある。	男性スタッフが従事していない事。	男性スタッフの雇用
2	家族支援プログラムが実施できていない	・事業所としてペアトレ等の実施経験がない	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に向けて実施の希望を伺う。 ・ペアトレの研修を受け、職員のスキル向上をする。
3	保護者間での交流の機会がない	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会の実施ができていない。 ・保護者同士での関わる機会がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者参加ができるようなイベントの考案 ・保護者会の実施